

かん
環

きょう
境

ちょう
調

さ
査



たいきおせんちょうさ 大気汚染調査

あだちく まいとし たいき おせんじょうきょう ちょうさ
足立区では毎年、大気汚染状況を調査することで、あんしん けんこう す
安心して健康に過ごせること

かくにん
を確認しています。

ちょうさ ねん かい がつ がつ くない しょ かんせんどうろぞ おこな
調査は1年のうち2回(5月・11月ごろ)区内の7か所の幹線道路沿いで行っていま

す。



大気汚染のおかしと今

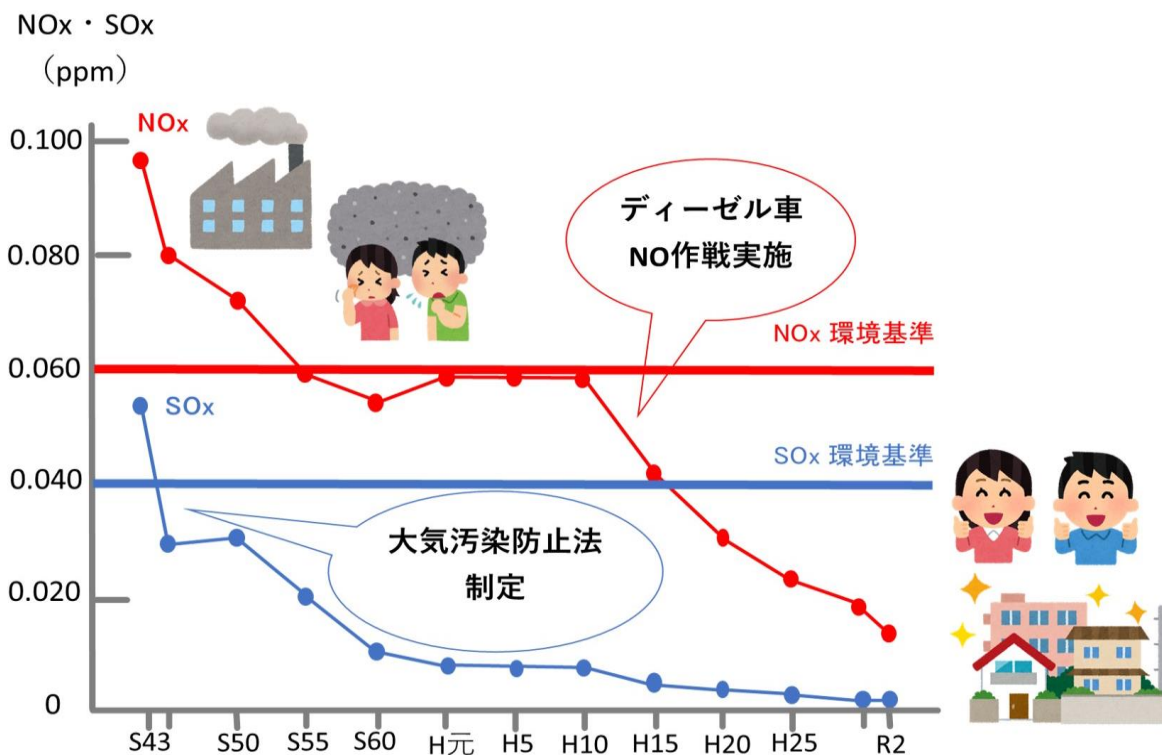
日常的に利用される自動車が行走する際に排出される NOx や、石油・石炭が燃

える際に発生する SOx とした物質は、大気中の汚染の主な原因となっています。

NOx・SOxが多くなると、肺や喉などのからだの器官に悪影響を及ぼすといった

健康被害につながります。

近年では様々な政策によって、昔に比べて改善され、とてもきれいになっています。



◇ 私たちにできること

バスや電車を率先して利用することで、自動車の利用を少しでも減らしたり、車に乗

る際はアイドリングストップを心掛けるように、一人一人のご協力よろしくお願いします。

かせん すいしつちようさ 河川の水質調査

しょうわ じだい せいかつはいすい こうじょうはいすい なが こ あくしゅう はっせい かわ よご
昭和の時代は生活排水や工場排水などが流れ込み、悪臭が発生するなど、川の汚

れが問題となっていました。

げんざい かわ すいしつ さかな すかた み
現在は川の水質がよくなり、魚の姿が見られるようになっています。

あだちく ねん かい がつ がつ がつ がつ くない かわ すいしつ ちようさ かわ
足立区では、年4回（4月、7月、10月、11月）、区内の川の水質を調査し、川がきれ

いな状態で保たれているかを確認しています。



DO（河の水に溶けてる酸素量）測定



バケツで河の水を採取



河川水の透視度測定



ちようさかせん けながかわ わしみやばし
※調査河川：毛長川（鷺宮橋）

ほか かせん すいしつちようさ さまざま こうもく そくてい
その他にも、河川の水質調査では様々な項目を測定しています。

川のおかしと今

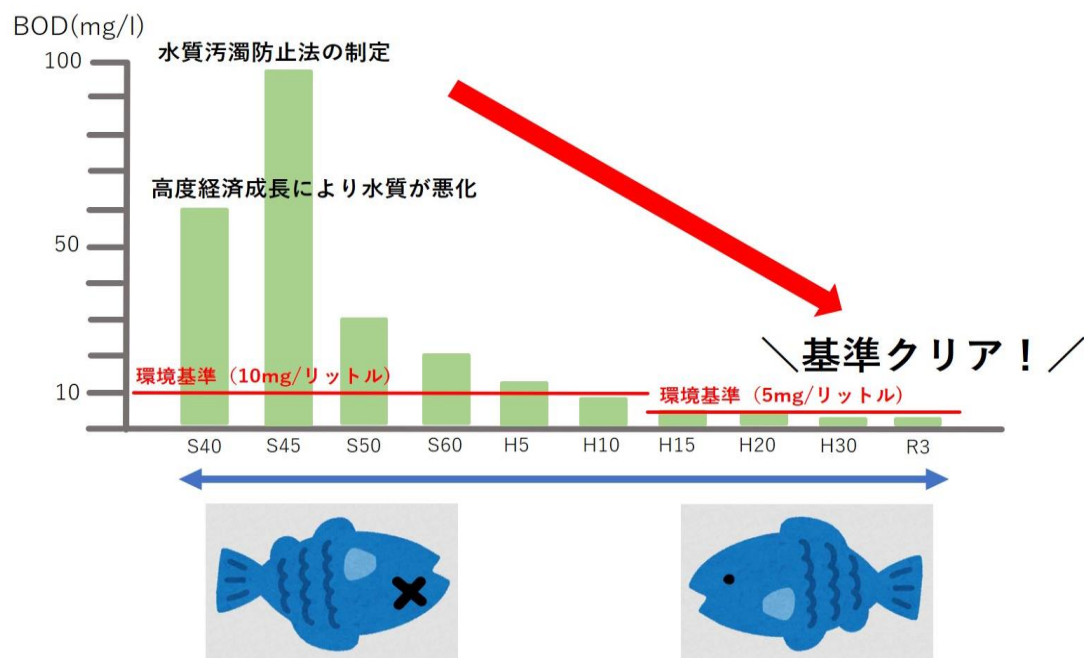
BODとは、^{かわ}川の^{よごれ}汚^{めやす}れの^{めやす}目安のことです。

国が定めている、綾瀬川や荒川などのBOD（川の汚れの目安）の環境基準は5mg

/リットル以下です。BOD（川の汚れの目安）の値が小さいと、川の水質は良好で、魚

が生きやすい環境になります。

ここ10年以上、足立区の川はきれいになってきています。



◇ 私たちにできること

きれいな水を守るためには、一人一人が生活排水対策を意識して生活することが

大切です。

油をそのまま流さない、洗剤を使いすぎないなど、できることを取り組んでみましょ

う！

たいきちゅう ちょうさ 大気中のダイオキシン調査

ダイオキシンは、ふてきせつ ほうほう も はっせい ひと からだ と こ
不適切な方法でゴミを燃やすことで発生し、人の体に取り込まれる

めんえきいじょう さまざま けんこうひがい お し
と免疫異常などの様々な健康被害を起こすことが知られています。

1999年^{ねん}に「ダイオキシン類対策特別措置法」^{るいたいさくとかくべつそちほう}が制定され、環境中のダイオキシンを^{せいいてい}かんきょうちゅう

へ と く すす
減らす取り組みが進められてきました。

あだちく ねん かい がつ がつ ぐうき なか ふく
足立区では年2回（8月、2月）、ダイオキシンが空気の中にどのくらい含まれている

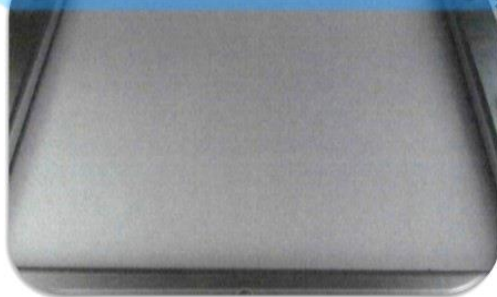
ちょうさ かんきょうきじゅん まも かくにん
か調査し、環境基準が守られているかを確認しています



採集装置を設置



空気中の粉じんをフィルターでキャッチする



フィルターでキャッチした粉じんを調べ、

ダイオキシンがどのくらい含まれていたか調べる

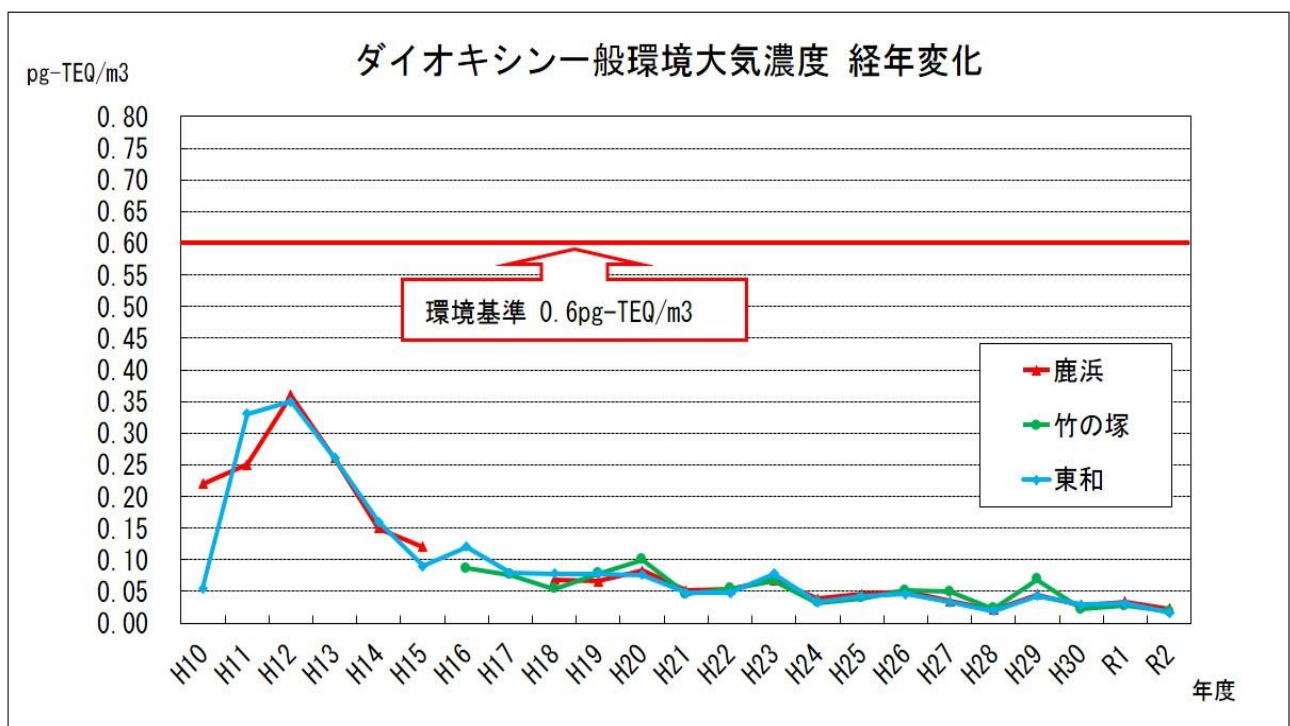


あだちく たいきちゅう ちょうさ ぶんせき ようす
※足立区の大気中ダイオキシンの調査・分析の様子

ダイオキシンのむかしと^{いま}今

1999年に制定された「ダイオキシン類対策特別措置法」において、大気中のダイオキシン濃度の環境基準は0.6pg-TEQ/立方メートルとされています。

足立区の調査では、毎年この環境基準が守られていることを確認しています。



◇ 私^{わたし}たちにできること

ダイオキシンが発生する原因として、ゴミの不適切な焼却行為が挙げられます。

みなさんの健康を守るためにも、ゴミは自分で焼却したりせず、ルールを守って捨て

ましょう！

かんきょうちゅう ちょうさ 環境中アスベスト調査

アスベストとは、^{せきめん}石綿(いしわた、せきめん)とも呼ばれる^よ天然に^{てんねん}産出する^{さんしゅつ}繊維状^{せんいじょうこうぶつ}鉱物

^{そうしやう}の総称です。

アスベストは^{あんか}安価で^{すぐ}優れた^{たいねつせい}耐熱性・^{たいやくひんせい}耐薬品性・^{ぜつえんせい}絶縁性を持つため、^も多くの^{おお}建築物で^{けんちくぶつ}

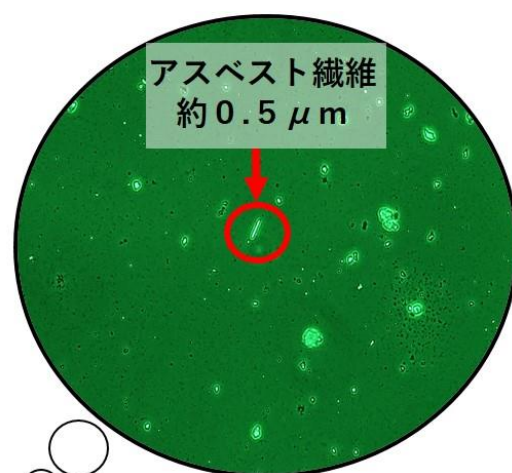
^{だんねつざい}断熱材・^{たいかざい}耐火材として^{しやう}使用されてきました。現在は^{げんざい}様々な^{さまざま}健康被害^{けんこうひがい}が生じることがわか

り、アスベストを使用した^{しやう}建築物の^{けんちくぶつ}解体やアスベストの^{かいたい}除去をする際は、^{じよきよ}大気汚染^{さい}の^{たいきおせん}

^{ぼうしほう}防止法や^{けんせつ}建設リサイクル法など^{ほう}様々な^{さまざま}法律^{ほうりつ}によって^{きせい}規制がされています。

アスベストによる^{たいきおせん}大気汚染の^{げんじやう}現状を^{はあく}把握するため、^{かんきょうちゅう}環境中のアスベストは、^{ねん}年1回(1

^{がつ}1月)^{ちてん}2地点で^{ちょうさ}調査しています。



図：令和2年度調査 調査地点（南花畑1）



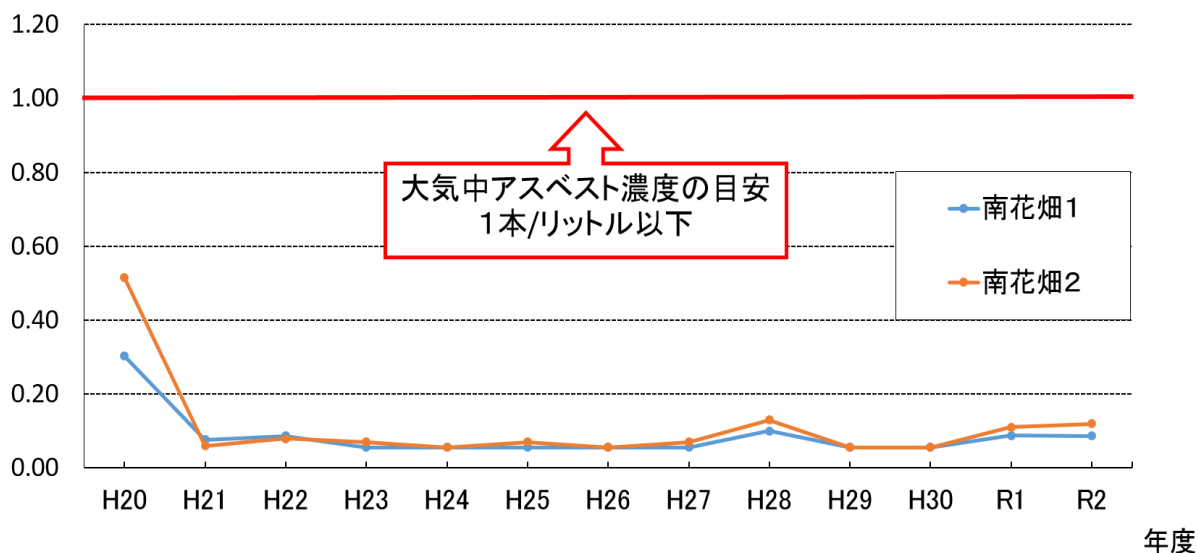
アスベストのむかしと今^{いま}

大気中アスベスト濃度の目安は、WHO(世界保健機関)によると1本から10本/リットル以下とされています。

足立区では10年以上、基準を十分下回っています。

本/リットル

環境大気中のアスベスト調査



◇ 私^{わたし}たちにできること

アスベストは壁や天井、床の中に含まれていることも多く、私たちの身近なものに利用されています。

そして、建物の解体時に飛散する可能性があります。

お家の建て替え工事の際は適切な業者へ依頼して、アスベストを飛散させないようにしましょう！

自動車騒音調査

足立区では騒音の少ない住みよいまちづくりに役立てるため、毎年11月から12月

頃に、区の幹線道路などで騒音調査を行っています。



※自動車騒音の調査方法のイメージ(面的評価の例)

道路端から50mの範囲について、自動車の騒音を測定し評価します。毎年測定

場所を変え区内の数か所の幹線道路で測定しています。近年はほぼすべての測定

場所で環境基準を満たしています。

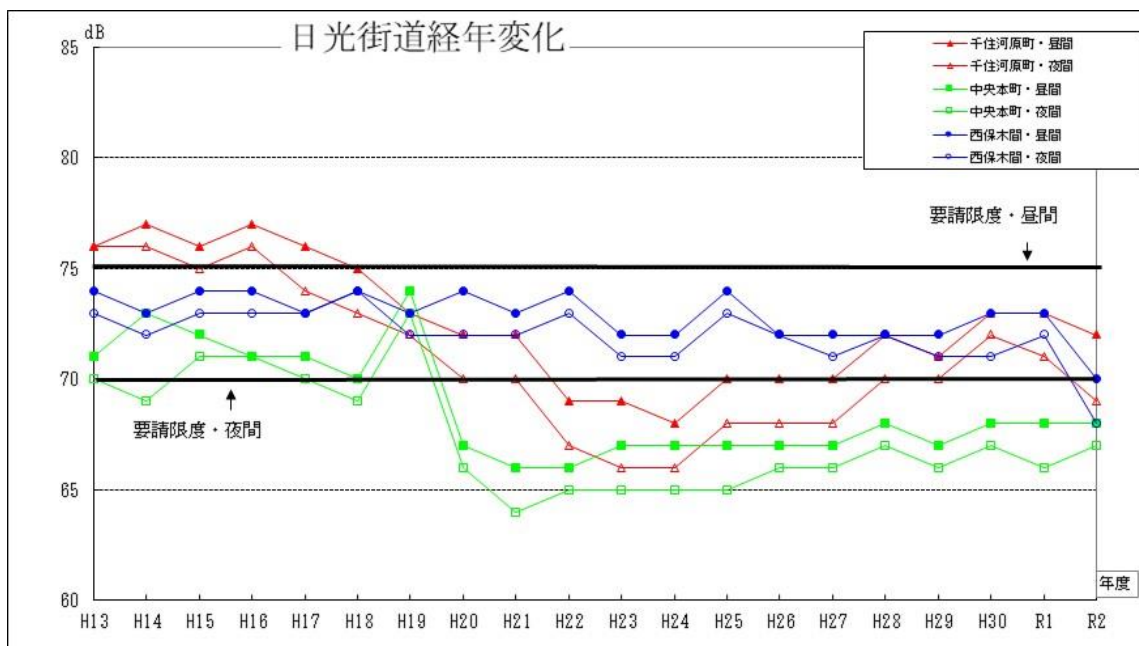
自動車騒音のむかしと今

日本の車の台数は昭和40年頃と比べると約10倍程度まで増加し、それに伴い

騒音問題も発生してきました。

今では路面を低騒音舗装にしたり、遮音壁を建てたり、騒音の小さい電気自動車等

を普及させるなどの対策が進み、足立区内でも騒音が改善されています。



※要請限度とは、騒音規制法で定められている騒音値です。

要請限度は昼間75dB、夜間70dBと定められています。

◇ 私たちにできること

車を使用するときは、エンジンをかけっぱなしにせず、アイドリングストップに心がけ

る、静かに走行するなど、足立区の住みやすい環境のために、ご協力よろしくお願いします。